

のぞみ

山本せいご後援会事務所
精華町 大字南稲八妻 小字門口71
TEL/FAX 0774-95-6288
Eメール seigo722@balloon.ne.jp

解説

新消防庁舎建設 について考える

3月議会の質疑

■質問

現消防庁舎は老朽化が著しく、現在の耐震基準にも適合していない。人の命を守る庁舎が、民家より先に倒壊しては大変。全面改築を早急に進めるべきである。

■町長の回答は、

昭和57年に建設、33年経過し老朽化が著しい。消防庁舎の改築を町の重点項目と位置づけ検討を進める。

新たに建設となれば都市計画法上の問題、周辺に及ぼす問題から現消防庁舎での改築が望ましいと考え、それを軸として検討整理するよう消防本部に指示した。

次の段階として今後は、消防庁舎建設に向け財政面の計画策定を行い実現に努めたい

手順が違うのでは？

建設地の再検討が必要！

①財政の厳しい折、庁舎建設地について総合建築費用を検討した上で決められたのか？

土地価格の安い役場北側の候補地では、現敷地を売却した差益が1億円程度見込まれる。

そもそも都市計画法上の問題や周辺に及ぼす問題を盾に、安易に方針を出したことに違和感がある。障害無く楽に進められる現敷地内を決定し、財政上優位と推定される新築移転について議論をしていない姿勢は官庁的で、コスト意識が感じられない。あわせて決定に至った費用比較について公開できないのも疑問に感じる。

基金積み立てであれ、地方債発行であれ、住民の税金での事業であることを自覚すべきである。

②災害対策拠点として、現在地は適さないのでは？
精華町発行の防災マップによると、現在地は想定雨量の中で2メートルから5メートルの浸水地域にある。

このことがわかっていながら浸水予測地に新消防庁舎を建設することは理解できない。リスクは避けるのが常識である。万一、浸水したら住民に對しどうして救援活動するのか。

比較的その影響は少ないとした判断をしている。しかし、近年都市水害は想定を越えており、今後さらに増大するといわれる。危機意識が欠けているのではないか。

■新庁舎建設は

①将来にわたって災害救援活動に万全が期せる場所
②財政的に優位な場所を最優先として再検討すべきです。

新消防庁舎建設に対するご意見をお寄せください。

お知らせ

ホームページ・ブログの最新情報

■活動報告(ブログ)

●9月一般質問

新消防署建設の建設地の選定、建設費に対する見解

■地域だより(ブログ)

●8月精華町・防災訓練

■議会だより

●第3回定例会

■後援会だより・のぞみ

●新消防庁舎建設について

メールでお問い合わせができます。

地域の問題や行政の課題などメールでご一報ください。できるだけ議員から直接ご返事します。

フアックスからもできます

次ぎは十二月議会です。

一度、傍聴をおすすめします。

議場にこられない方は、精華町議会ホームページで議会中継をごらんください。

庁舎2階でテレビ中継が見れます。